



# みんなで守ろう！ 秋田の生物多様性

～人と自然が共生する豊かでうるおいのある秋田県を目指して～

原生的なブナ林が広がる世界自然遺産の白神山地をはじめとする秋田県の自然環境は多様な「命」を支える基盤となっています。



# 生物多様性について知ろう!

地球上には、森林、草地、湿原、河川、湖沼、海岸など、様々な自然環境が存在し、こうした環境に適応して進化した約3,000万種とも推定される生き物が食物連鎖などを通じて互いにつながり合い、バランスを保ちながら豊かな自然を形成してきました。

この様々な生き物たちの個性とつながりが「生物多様性」そのものです。そして、この生物多様性には3つのレベルがあります。

## 1 いろいろなすみかがある(生態系の多様性)

森、川や湖、海、草原など、いろいろな環境があります。それぞれの場所によって、そこで暮らせる生き物が違います。



白神山地(藤里町)



獅子ヶ鼻湿原(にかほ市)



田沢湖(仙北市)



寒風山(男鹿市)

## 2 いろいろな生き物の種類がある(種の多様性)

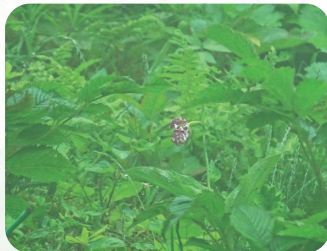
哺乳類、鳥類、魚類、植物、そして目に見えない微生物まで、数え切れないほどたくさんの種類の生き物がいます。



ツキノワグマ



クマゲラ



チョウセンキバナアツモリソウ



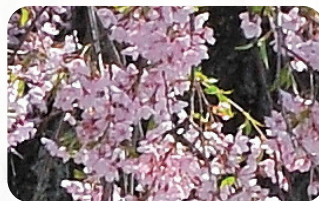
天然秋田スギ

## 3 同じ種類でも個性がある(遺伝子の多様性)

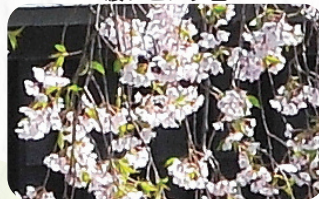
同じ種類の生き物でも少しずつ違い(個性)があります。この違いがあるおかげで、気温が変わったりしても全滅せずに生き残ることができます。



武家屋敷のシダレザクラ



濃いピンク色

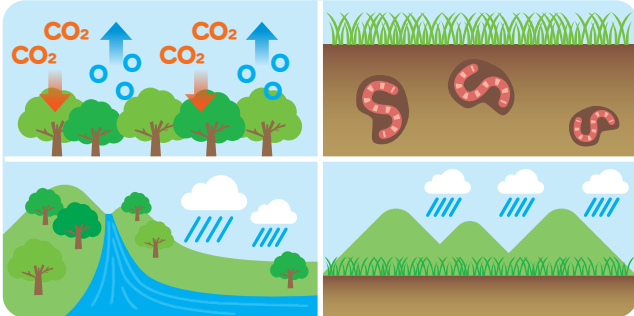


薄いピンク色

# 私たちの暮らしを支える「4つの恵み」

秋田県の豊かな自然=「生物多様性」がもたらす恩恵は「生態系サービス」と呼ばれ、私たちの生命と社会活動の基盤となっています。

## ① 基盤サービス(命の土台)



酸素の供給、水の循環、土壌の形成など、全ての生命が存続するための根本的な機能です。

## ② 供給サービス(生活の資源)



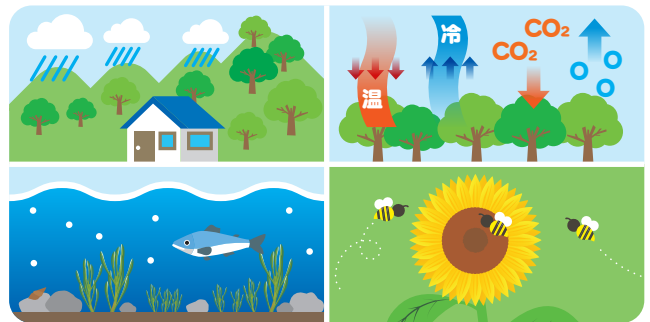
食料(ハタハタ等)、木材(秋田スギ)、水資源、医薬品や化粧品の原料などを与えてくれます。

## ③ 文化的サービス(心と文化)



竿燈などの伝統文化、観光・レクリエーション、精神的な癒やしにより私たちの心や文化を豊かにしてくれます。

## ④ 調整サービス(安全な環境)



山地災害の防止、水源のかん養、気候の安定化、病虫害の防除など、環境を安全・快適に整えてくれます。

# 秋田の多様な命を育むダイナミックな自然環境

秋田県は、都道府県の面積で全国第6位の広さを誇り、山、川、湖、海など変化に富んだ自然環境を持っています。このダイナミックな環境が、多種多様な生き物たちのすみかとなっています。

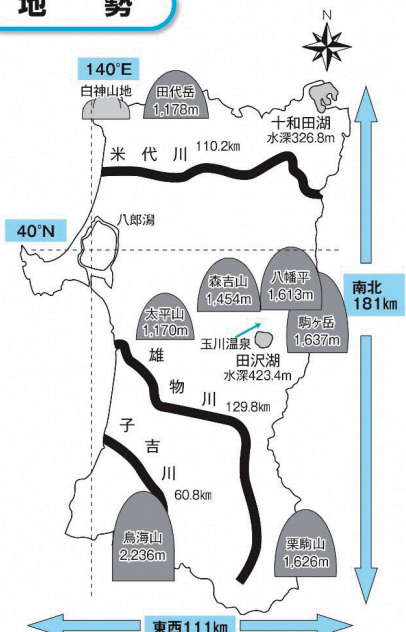
## 1 地形の特徴: 三方を山に囲まれた水の国

秋田県の地形は、北に白神山地、東に奥羽山脈、南に鳥海山など、三方を山々に囲まれています。山に降った雨や雪は、米代川、雄物川、子吉川の三大河川に集まり、全て日本海へと注いでいます。

## 2 気候の特徴: 雪と海流がもたらす恵み

秋田県は全域が「豪雪地帯」に指定されている日本有数の多雪地域です。年平均降水量は約1,700mmを超え、このたっぷりの雨や雪が豊かな森と水を育てています。

### 地 勢



## 3

## 秋田を分ける4つのエリア(水系)とその特徴

秋田県の自然は、水の流れ(水系)や地形によって、大きく4つのエリアに分けられ、それぞれに特徴的な生き物が暮らしています。

## ① 米代川水系地域(県北部)

世界自然遺産・白神山地、十和田八幡平国立公園など、原生的な自然が広がるエリアです。小友沼などの国際的に重要な渡り鳥の飛来地もあります。



米代川上流部(鹿角市)



小友沼(写真提供:後藤千春氏)

## ② 雄物川水系地域(県中央・南部)

県内で一番長く、流域面積が広い雄物川水系のエリアです。奥羽山脈の深い森から、横手盆地や秋田平野を潤しています。六郷湧水群などのきれいな湧き水が豊富です。「ゼニタナゴ」や「トミヨ属雄物型」といった、全国的にもめずらしい希少な淡水魚類が生息しています。



雄物川中流部(大仙市)



ゼニタナゴ



トミヨ属雄物型

## ③ 子吉川水系地域(県南西部)

鳥海山の恵みを受けるエリアです。鳥海山麓にはブナを中心とした豊かな森が広がっています。仁賀保高原のため池群は水生植物や湿地の生き物を育てています。



子吉川上流部(由利本荘市)



鳥海山

## ④ 男鹿・八郎湖地域(県中央・沿岸部)

男鹿半島の海岸段丘や寒風山に広がる広大な草原、そして干拓によってできた八郎湖からなる多様なエリアです。藻場(海藻の森)は、秋田の県魚であるハタハタの大切な産卵場所です。八郎湖には秋から春にかけて数多くのハクチョウ類やガン類が飛来し、水鳥たちの楽園となります。



寒風山(男鹿市)



八郎湖(八郎潟町)



ハタハタの産卵場となる藻場

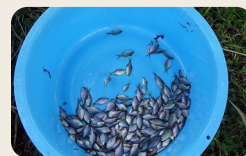
## トピック

## 新種発見!希少魚ゼニタナゴの保全活動

かつては東北や関東に広く分布していた「ゼニタナゴ」は、環境の変化で激減し、現在は秋田県などごく一部でしか見られません。横手市の安本自然環境保全地域では、この希少な魚を守るため、外来種の駆除やゼニタナゴの産卵に必要な二枚貝の放流や生息調査、小学生向けの魚類観察会などが行われています。



二枚貝生息調査



外来種(タイリクバラタナゴ)



魚類観察会の様子

# 生物多様性がやっぱり大切!

雪深い厳しい冬や海・山・川が織りなす変化に富んだ地形が秋田の多様な命を育むダイナミックな自然環境を生み、そこから生物多様性による恵みがもたらされます。この恵みを受け続けられるのは、地域ごとに特色ある自然環境が保たれているからなのです。だからこそ、多様な生き物がいる秋田の豊かな環境を守る必要があります。

## 生物多様性を脅かす「4つの危機」

人間の活動や環境の変化によって、生き物たちの絶妙なバランスやつながりで成り立っている生物多様性が壊されてしまっています。

### 第1の危機

#### 人間活動による危機(開発や乱獲)

開発、希少種の乱獲・盗掘など直接的な影響



ゼニタナゴ



チョウセンキバナアツモリソウ



工事

### 第2の危機

#### 自然への働きかけの縮小による危機(放置・手入れ不足)

里地里山の放置、ニホンジカやイノシシの急増



増加する耕作放棄地



水田に侵入したニホンジカ

### 第3の危機

#### 持ち込まれたものによる危機(外来種など)

アメリカザリガニ、オオクチバスやオオハンゴンソウ等の侵入



アメリカザリガニ



オオクチバス



オオハンゴンソウ[環境省提供]

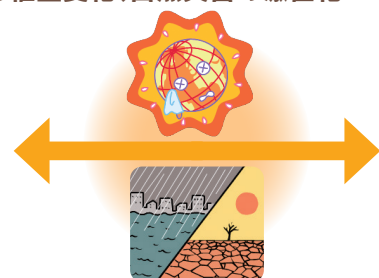
### 第4の危機

#### 地球環境の変化による危機(地球温暖化など)

地球温暖化による植生変化、自然災害の激甚化



松食い虫被害



ナラ枯れ被害

# 秋田県生物多様性地域戦略[2021-2030]

秋田県では生物多様性を守るため、次の目標を掲げ、取組を実践していきます。

## 秋田県が目指す5つの目標

### ① 多様な生態系の保全（自然の環境(すみか)を守る）

森や川、海などの自然をきちんと手入れして守ります。また、道路や農地を作るときも、生き物たちの「すみか」を壊さないように工夫します。

### ② 野生動植物の保護（野生生物と上手につき合う）

絶滅しそうな希少な生き物は保全します。一方で、ツキノワグマやニホンジカなど人間の生活に被害を出してしまう動物については、ルールを決めて数を調整したり、生活圏を分けたりします。

### ③ 外来種への対応（外来種からの被害を防ぐ）

秋田の自然のバランスを壊してしまう「外来種(もともと日本にいなかった生き物)」の駆除を行います。ペットや植物を野外に「入れない・捨てない・拡げない」のルールを徹底します。

### ④ 生物多様性の主流化（「自然を守る」を社会の当たり前にする意識づくり）

学校での環境学習や自然の中での体験活動、ボランティア活動を応援します。みんなが「自然を守るのが当たり前」という意識を持つ社会を作ります。

### ⑤ 地球温暖化防止と普及啓発（地球温暖化のダメージを減らす）

二酸化炭素をたっぷり吸収してくれる「元気な森」を育てます。また、木材などの環境に優しいエネルギーを活用して、温暖化から生き物たちを守ります。

## みんなもやってみよう！

### 関心を持ち、情報を発信する

地域の生き物や自然環境に興味を持ち、その価値を家族や友人に伝えよう。

### 環境学習会などへの参加

植樹活動や外来種駆除、環境学習会など、地域の保全団体が取り組むプログラムへ積極的に参加しよう。



植樹活動



環境学習会



## 秋田県生活環境部自然保護課

〒010-8570 秋田市山王4丁目1番1号 / shizenhogoka@pref.akita.lg.jp  
TEL 018-860-1614 / FAX 018-860-3835